

留 学 報 告 書

令和 5年 12月 5日

学 部 法文 学科・課程 言語文化

氏 名 R.Y

1. 留学先大学・学部 国名 韓国

大学名 韓国外語大学

現地到着日 (2022年 8月 24日) 授業開始日 (2022年 9月 5日)

現地出発日 (2023年 7月 3日) 授業終了日 (2023年 5月 16日)

2. 日本を出発するまでの主な手続き及び準備

服や大量に必要なものは留学先で購入したので、日本から持っていく荷物は普通に旅行に行く時のように準備しました。着いてからの移動も考えて大きいキャリーケース1つ、リュック、手提げの3つにまとめてきました。主に持って行ったものは服3~5日分、常備薬、洗面用具、衛生用品、お茶漬けなど日本の食べ物、カメラ、韓国語の本一冊、PC、変換プラグです。女子は生理用品を日本から持って行ったほうが安心だと思います。現地で買うと高めでした。それから変換プラグはいくつか持って行っておくと便利です。

3. 自宅から留学先大学までの交通手段 (乗物の種類, 乗り換え地, 所要時間)

自宅から、両親に出雲空港まで送迎してもらい、そこから飛行機で羽田空港に行きました。東京で一泊してから羽田発の早朝の便で韓国の金浦空港に到着しました。飛行機のチケットは航空会社のマイルがたまっていたので、それを使って5千円程度で行くことができました。韓国で一番大きな空港は仁川空港ですが仁川は首都ソウルまで1時間以上かかります。空港からは、あらかじめ予約しておいたタクシーを使って大学近くの清凉里のホテルに行きました。私が留学した時はまだコロナが流行していたため、陰性証明書が必要でした。発効まで1日必要だったため、現地のホテルで一泊しました。次の日の朝ホテルから大学まで再びタクシーを使って移動しました。

4. 留学先大学での各種手続きの仕方

大学に到着してすぐ、荷物を持ったまま手続きをする場所に向かいます。場所はあらかじめメールなどで送られてきます。手続きは記憶が定かではないですが、保険の証明書、パスポート、健康診断書などを提出した気がします。手続きが終わると寮に向かいます。私の寮は学校から少し離れたわかりにくいところにあったので、たどり着くのが大変でした。案内はしてくれなかったので自力で行くしかありませんが、寮長さんに連絡すれば助けてくれると思います。

5. 留学生へのオリエンテーションの内容及びプレースメントテストについて

オリエンテーションは大学が始まる前にオンラインで行われました。そこで大学案内と、困ったときの対応、注意すべきことを教えてくださいました。ですが英語で行われたので私には難しかったです。プレースメントテストもオンラインで行われました。テストは話すテストと文法のテストがありました。話すテストではウェブ上で先生と趣味や生活、自分の国など様々なテーマについて簡単な会話をしました。文法のテストは画面上に写される問題を、手元に用意した紙に解いて、後で写真を撮ってメールで送る方式でした。レベルは全部で6レベルあり、テストの後に自分のレベルとクラスがメールで送られてきました。

6. 授業の受け方、ペーパー及び試験の傾向等について

基本的に朝9時から13時まで語学堂で韓国語の学習をし、交換留学生で大学の講義を聴く人は午後からの講義をとるという1日でした。語学堂のテストは中間テストと期末テストがあり、それぞれペーパーテストとインタビュー試験がありました。ペーパーテストでは文法、読み、リスニングがそれぞれ1時間ずつありました。基本的に普段使っている問題集から出題されますが、スペルが間違っている場合も×されるので難しいです。また、そのレベルを合格するためには、文法、読み、リスニング、会話の成績の平均が70点以上かつ、60点以下の科目がないことが条件でした。そのため、毎日予習復習をしないと簡単には合格できないと思います。

7. 留学先大学で学んだ科目のうち特に良かったもの、後輩に勧めたいもの

TOPIK5級程度を持っていても語学堂の授業を聞いてみるのがいいと思います。韓国語ネイティブの先生に韓国語を教えてもらってより文法を深く理解できると思います。私は留学の途中でTOPIK5級を取得しました

が、レベル3の講義でもついていくのが大変でした。大学の講義は「韓国の世界遺産」という講義しかとっていませんでしたが、島大でいう教養授業で1回生や2回生が多くいたようです。交換留学生は少なかったですが先生が優しく最後までサポートして下さると思います。それから大学の講義の中にも韓国語を学ぶ授業があります。語学堂に行く以外にもそれを受講してみるのも良いと思います。

8. 留学先大学の住居の種類等について、後輩にどのような寮・アパートを勧めるか

私はインターナショナルハウスCという寮に住んでいました。いろいろなタイプの部屋があり、一人部屋もあれば3人部屋もありました。どこに入るかは自分で決めることはできませんでした。基本的に同じ国の人がルームメイトになります。部屋には洗濯機や、キッチン、シャワーがついていて生活に必要なものはそろっています。留学生のほとんどはグローブドームという学校の敷地内にある寮に入ります。そこは綺麗ですが門限があったり洗濯機が共同で、キッチンがなかったりすると聞きました。寮に入る人で自炊を考えている人はインターナショナルハウスがいいと思います。また、どうしても一人部屋が良い人は日本から部屋を決めていくのは難しいと思うので初めの数か月はでAirbnbに住んでゆっくり物件を探すのが良いと思います。ただ最近ソウルの家賃が高騰しているのに加え詐欺も多いと聞いたので下調べはしっかりしたほうが良いのではないかと思います。

9. 寮・アパート生活での注意、生活の様子（行事など）、困ったこと、ルームメイトとの付き合い方、（いつから入れるのか、寮の開閉、寮が閉鎖中の滞在場所等）

チェックインする日が決まっているのでその日に行きます。私の寮は門限が緩くほぼないのと同じでした。長期休業中も追加で家賃を払えば継続して住むことができますが、長期休業中は掃除の方が突然入って来ることがあります。おそらく事前に通知してくれるとは思いますが、、、。また韓国の家屋は多くがそうだと思いますがシャワーとトイレが同じ空間にあります。何か困ったことは寮長さんに相談すれば解決してくれます。

10. 留学先での金銭の扱い及び貴重品の管理について

（どのような口座を利用したか、現金とかカードの利用は、自宅からの送金はどうしたか等）

楽天口座を作っていました。生活はほぼカードで過ごしていましたが、現金が必要な時は楽天口座から

おろすことができるので良かったです。また、楽天銀行は海外送金もネットでできるので何かと便利だと思います。（海外のネット環境でできるかはわかりませんが、、）現金は日本円で10万円を空港で換金して持っていきました。外国人登録証ができてからは学校の近くのウリ銀行で口座を作ってその口座と連携したカードで支払いをしていました。また交通費もそのカードでICカードのように支払うことができ便利でした。

11. キャンパス案内（どんなとき、どこへ行けばよいか等）

困ったときは事務室に行くといと思います。留学生担当の先生がいて案内して下さると思います。語学堂の先生も親身になって助けてくださります。

12. 現地案内（買物、銀行、レストラン、理髪店、美容院等の様子）

水、食べ物など重いものはすべてネットで注文していました。注文すると遅くても次の日には届きます。また、バスで20分くらいのところにトレーダースという大きなマートがあり、そのベーグルが安くおいしかったのでお勧めです。한끼というごはん屋さんが学校の図書館の裏にあり、おかずが取り放題なので栄養不足の時はそこに行っていました。

13. 失敗談（どんな小さなことでも）

韓国語と英語をあまり勉強していかなかったことです。韓国語を勉強していっていればもう少し高いレベルから始めることができたからです。英語は英語圏の友達がたくさんできたので、英語が流ちょうに話せていたらよかったのと思ったからです。

14. 病気になった場合の対応について（医療費はどのようになっていたか、保険等はどのようにしたか）

医療費は日本で入っていた保険で賄えると思います。また、3か月以上滞在する外国人は国民保険に加入する決まりになっているので安く済むと思います。

15. お世話になった方々

ルームメイト、林先生、国際課の先生、語学堂の先生、現地の友達、家族、関わってくださった皆様

16. 留学先国内旅行について（場所，手段，費用，旅行社等）

釜山、慶州、済州島に行きました。釜山、慶州にはKTX、済州には飛行機で行きました。移動にかかる費用は日本の国内旅行をする時より安いです。ソウルも楽しいですが違う都市に行ってみるのも良いと思います。

17. 気候と服装について

日本より寒いです。冬はマイナス16度の時がありました。外に出るときはみんなベンチコートを着ていました。

18. 日本からぜひ持っていきたいもの（学用品，衣服，食品，薬，運転免許証等）

薬と生理用品は日本から持って行ったほうが良いと思います。韓国の薬は粒が大きくて飲むのが怖かったです。

19. 留学に際し最も役立った本は（専門書，旅行案内書を含めて）

本ではないですが、インスタグラムで韓国の留学について詳しく投稿しているアカウントがたくさんあるのでそれを参考にするといいと思います。

20. ホームステイの依頼方法

21. 留学費用について

1) 旅費	(往) _____ 1万円, (復) _____ 2万3千円
2) 準備費用	_____ 5万円
3) 大学へ納入する費用	(島根大学に支払う学費) _____ 円
授業料 (年間合計)	_____ 円
保険等その他の費用	_____ 8万円
4) 住居費 (光熱費等含む)	_____ 42万円
5) 衣服代, その他雑費	_____ 15万円
6) 帰国時の土産代, 郵送料等	_____ 3万円
7) 留学先国内旅行費用	_____ 5万円
8) 上記を含めその他すべてを含めた合計金額	_____ 100万円
現地通貨 _____ 1₩ 日本円換算(レート) _____ 9.07円	

22. 帰国時の荷物の作り方, 送り方等

大きめの段ボールを2箱船便で送り、そのほかは来た時同様キャリー、リュック、手提げに詰めて帰りました。荷物は大学付属の郵便局で送ることができます。

23. 留学して得たこと (全般についての感想文)

私は大学4年生で留学したので、同級生よりは1年長く大学にいることになりました。行く前は、同級生たちに比べて1年遅く卒業することや、就活に対する不安もありました。しかし、帰ってきた後はやりたいことや興味のあることが明確になり、軸をもって落ち着いて就活ができていたのでむしろ良かったと思います。また、海外の友達がたくさんでき、海外が身近な存在になりました。友達と話をする中で日本には無い色々な価値観を知ることができたのも良かったと思います。それから海外に出てみて、家族や友達のありがたみをより感じました。海外にいても何かあっても家族はすぐに来られないので何でも自分でしないとけないという状況でした。そこで簡単なことではくじけない心を手に入れると同時にいつもサポートしてくれている家族のありがたさに改めて気づくことができました。それから違う国で暮らしてみても、こういうところは日本が良いとか、ここはもう少し改善したほうが良いとか良い意味で比べる対象ができたと思います。また、何かを調べるときも韓国語と日本語両方で調べられるようになったので、得られる情報も倍になったし、韓国での経験でアイデアの引き出しが増えたと感じます。